学校だより



第2号 令和7年7月7日 旭市横根3746 旭市立飯岡中学校



HP http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/jhs-iioka/

《学校教育目標》**「未来を主体的に切り拓き** 学び支え合う生徒の育成」 《チャレンジ3》 ①心身の健康を作る ②読解力を高める ③家庭学習を充実する

|学期も残すところ2週間となり、現在は熱戦が繰り広げられ ている夏の総合体育大会やコンクールに向けて最後の調整に各

部とも心を一つに取り組んでいます。

この1学期を振り返ると生徒の活躍や成長を私たち職員も実感しています。定期的に発行され る学年だよりからもその様子は伝わっていることと思います。それを表している数字として、令和6 年度と令和7年度の6月末現在の遅刻・早退・欠席数を比較してみると表のような結果がありまし

た。遅刻等の理由は様々ですが、心身の健康が保たれ、学校 が生徒にとって充実した空間になるよう今後も保護者の皆様 と連携を取りながら学校運営を進めていきたいと考えます。

	遅刻	早 退	欠 席
令和6年度	3 2 0	220	8 4 3
令和7年度	178	1 3 4	5 0 4
増 減	-142	-86	-339

また、今年初めて実施した期末テスト範囲表を2週間前に

配付していたものを1ヶ月前からにし、余裕を持ってテスト準備が始められるようにしたところ、成 果につながった生徒も多かったようです。

各行事では、校外学習や修学旅行においてどの学年も成果があり、充実していた様子が廊下 掲示してある作文や新聞、写真から伺えます。班でのカレー作り、東京散策、友と過ごした福島で の3日間はどれも深い思い出になったと思います。

夏休みは、3年生にとって進路への切り替え、2年生は部活動のリーダーとして、1年生は大きな 行事への挑戦と次へのステップとなります。暑い夏ですが、逞しくなって2学期を迎えられるようご 家庭でもご指導よろしくお願いいたします。



薄曇りの中、恒例の海岸清掃を実施

ふるさと旭を大切にしていきます。

EVER GIVES

|年生を対象に人権擁護委員の しました。初めて、保護者ボランティアが一鈴木志敏様からSNSのトラブルと 参加し、たくさんのゴミが集まりました。 人権侵害について講話がありました。 その予防について学習しました。

一人で抱えず、すぐ相談!!

清朝记号办数宜7/12



保護者会の日に合わせ、情報モ ラル教室が行われ、ネット被害や 気づかないうちに被害者に。



旭市のいきいきプラン「本物に学ぶ講演会」が6月20日に本校で開 催されました。

今回の講師は、株式会社脳レボ代表取締役の川谷潤太氏です。 川谷さんは、兵庫県姫路市に生まれ、大学卒業後は兵庫県下に1万人

以上が通う大手学習塾に入社し、生徒からの支持率と実績を集め、当時最年少で一番くの生徒を抱える教室の塾長に 就任しました。以降3年間で生徒数1000名を超える西日本最大の教室に成長させ、入試特番のテレビコメンテーターな どを務めました。

その力を買われ、岡山県にある創志学園高等学校へ赴任し、学校運営の中心としてマネジメントを行いました。塾から 高校へと転職し、どのような力を発揮したのか?

川谷さんが勤めた創志高校では、部活動経営や教科指導に塾で養った力を発揮し、野球部やソフトボール部・柔道部 の活躍がめざましく、素晴らしい成果をあげました。

みなさんもよく知っている野球の甲子園大会に、なんとこの高校は、 野球部創設 | 年目、全員 | 年生で岡山県優勝。夏 の甲子園に出場しました。その後、3年連続で甲子園出場を果たしました。また、ソフトボール部は、全国制覇。柔道部でも 日本一の選手を輩出しました。

講演では、短期間でたくさんの部活動が強くなるにはどんな秘訣があるのか?興味をもって真剣に講演会に臨む生徒 の姿がありました。7月に始まる夏の総体では、大きな力となって結果に結びついてくれると思います。

学習面でも川谷さんが教えたクラスの数学は、そうでない他のクラスと比べると平均点が20点以上高く、スポーツだけ ではなく学力向上にも成果を出しました。学力とスポーツの両立は、飯岡中の校訓「文武両道」と同じです。

川谷さんは、その後、独立し、現在はメンタルプロデューサーとして、プロ野球選手をはじめ、多くのアスリートへのメンタル 指導、様々な方へ講演やセミナーを開催し、講師デビュー5年で受講者は7万人を突破しました。教育潜在能力開発・モチ ベーション・メンタルトレーニング・集中力・リーダーシップなど私たちに必要なことをたくさん学ぶことができました。

講演後の清掃や部活動では、隅々まで拭き掃除をしたり、部活動では気持ちを合わせた声出しや 荷物の整理整頓をしたり今までと違った取組ができていました。多くのヒントを今後の成果につな げていきたいと思います。大切なことは、よいイメージ・一点集中・心を合わせること、そして「A明る くG元気でT楽しくE笑顔」が目標達成の近道になるそうです。その甲斐あって5、6日に行われた 総体では、ソフトテニス部男子個人、卓球部男子団体で優勝し県大会出場を決めました。





が対手を対ける



明るく 元気 楽しく 笑顔



令和7年6月20日(金)



